

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	北海道	全体的に生育が遅れている。 8月出荷が少ないため、9月に出荷が集中する可能性がある。	現状 長野、福島、岩手と徐々に増加。しかしながら気温も高く、どこの産地もなかなか品質が安定してこない状況が続く。関東近郊の千葉、茨城は終了に向かい高冷地中心の販売がメインとなる。
	青森	順調な生育も気温の高さと日照時間の長さから総じて前進傾向となっている。	見通し 大田花き 大型連休がある為、八重白系はかなり引き合い強くなっていく状況が予想される。お彼岸、お月見、敬老といった需要期に加え、連休のプライダル需要がある為、ある程度堅調な相場が予想される。
	秋田	現在、盆向けの物が終盤となっており、数量少なくボリュームも小さめとなっているが、9月に入って数量増量していき、9月2週目からまとまった数量の出荷となっていく見込み。	FAJ プライダルなど需要期に入り活発な取引が続く見込み。 東日本板橋花き 9月は北海道中心に潤沢な入荷
	山形	9月出荷のトルコギキョウの生育は、定植以降全般に高温で経過したことから、昨年より早い。 短日処理を実施したものは、一部品種で処理効果が低く、発着しているものの、概ね順調である。	世田谷花き 遅れていた北海道産がピークを迎える。週末の日柄も良く、動き活発か。 第一花き 入荷状況によるが、業務・プライダル・彼岸需要で安定した流れで概ね例年並みの流れ。@110
	長野	夏場の高温により焼け等の発生もあり出荷量は比較的落ち着いている。これから気温次第だが、秋出しがメインのJAは本格出荷となってくる。	
	大分	9月上旬より高冷地の出荷開始予定。詳細は現在取り纏め中であるが、ある程度の数量となるのは中旬以降となる。	
	熊本	8月上旬から定植はスタートしており、本格的な定植ピークは8月中旬～下旬。一部で苗の生育不良により、定植遅れなどもあるが、概ね育苗は順調。すでに定植した圃場では天候もよく、活着は良好。	
アルストロメリア	北海道	出荷量は9月中旬から徐々に増加する見込み。高温が続いているため株への影響が懸念される。	現状 主産地の北海道は、大きな増減なく安定した数量が入荷。愛知、長野などの産地では、高温、花焼けのため出荷数量が予想より大幅に少なく、全体として品薄単価高で推移した。
	長野	現在は夏出荷用の出荷規格となっており、数量は少なめとなっている。9月に入ると新植の出荷が始まってくることから、品質・数量ともに伸びてくる見込み。	見通し 大田花き 4-5月定植の新植の出荷も増えてくるため、数量は伸びてくる。前半は中～下位等級だが、徐々に上位等級の出荷も増えてくる見込み。 320 000本 @85 長野・山形より入荷。徐々に入荷数量増加の見込みも少ない状況が続く見込み。
			東日本板橋花き 青森、北海道、愛知中心の入荷。彼岸、業務中心の動き。 世田谷花き 引き続き強い引き合いの見込みだが、連休明けの下旬に一旦落ち着きそう。 第一花き 業務・プライダル需要中心の流れ、入荷も多く無い事から概ね例年並みの流れ。

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	群馬	高温の影響で下位等級の出荷が多い地域があるが、平地を中心に夜間冷房を行っており、9月以降は品質の向上が見込まれる。目立った病害虫の発生もなく、生育は順調。	現状 高温の影響を受けて、高冷地・暖地共に下位等級中心の出荷となる。需要もないことから、相場も低迷しており、旧盆期間は出荷休みの産地もあった。
	山梨	生育進度は昨年と同じ状況で推移している。うどんこ病の発生が少々見られる。	見通し 大田花き シルバーウィークのプライダルに向けて出荷増加の見込みではあるが、今後の天候次第となる。 2,900,000本 @80
	静岡	出荷の中心は50～60cmクラスとなっており、上位の発生率は低めでボリューム不足も見られる。今月は横ばいだが、9月の連休に向けて準備しており新植分も含み徐々に数量はまとまってくる見込み。	FAJ 週末プライダル、敬老の日などの需要期に突入。月後半の連休に期待。 東日本板橋花き 中旬までは、やや少なめの入荷量となり、上位等級中心で引き合いは強めの相場展開となる見込み。
	愛知	・ほとんどの産地でヒートポンプによる夜冷を行っているが、猛暑が続いていたこともあり下位等級の出荷が中心となっている。 ・9月の出荷動向は天候次第だが、例年と同様に下位等級が中心の出荷となる見込み。	世田谷花き 連休に向け入荷が増えてくる。婚礼需要中心の引き合いが見込める。 第一花き プラダル・業務需要中心の流れ、敬老の日需要。品質・品種による単価差は有る。SD@75 SP@90
	大分	出荷比率は50cm以下の階級が多く出荷調整を行っていることもあり少ない。9月は芽の付きは良いため本数は多くなる見通しであるが9月シルバーウィークに向けて増加となる見込み。	
スターチス	北海道(シヌアータ)	やや遅れはみられるが、おおむね平年並み。	現状 シヌアータについては各産地多少の遅れはあったが旧盆需要に合わせた出荷を行うことができ、数量面では例年並みの出荷となった。 ハイブリットは白中心に3色安定した出荷となった。需要面では盆需要中心に引き合い強く、盆後については落ち着いた取引となった。
	北海道(シネンシス)	やや遅れはみられるが、おおむね平年並み。	見通し 大田花き 彼岸需要に向けて数量は増加を予定している。天候次第では前進や遅れが発生する可能性もあり。シヌアータの荷姿は紫の上位等級が中心となる。シネンシスは白中心を予定している。
			FAJ 引き続き北海道中心の入荷。彼岸に向けて出荷継続予定。 東日本板橋花き 朝晩の気温が下がり、彼岸には潤沢な出荷が見込まれる。HBは、遅れ気味で日照次第では少ない見込み。シヌアータ@110～45、HB@150～50。 世田谷花き L～Mクラスが中心となり、上位等級は入荷少ない。 第一花き 彼岸需要中心の流れで入荷バランスによるところが大きい。HB系等も下位等級の販売は厳しい流れ。シニュー@35 HB@60
小菊	秋田	降雨が少なく、虫害が散見されている。輪菊同様に生育前進となっており、大きな出荷の山はない見込みとなっている。	現状 各地大幅前進の影響で需要期に供給量が大幅に少ない状況となった。引き合いは旧盆需要に向け強まるも、供給量が少なくお客様に満足いく対応は出来ず。需要期後に関しても入荷が少なめで推移する為、相場も大きく崩す事無く販売推移する。
	群馬	生育は、8月盆向け出荷ほどではないが早生品種でやや前進傾向にあるものの、中～晩生品種は順調に生育。県内一部地域では白さび病やアザミウマ等の発生が見られるため防除を徹底している。	見通し 大田花き 彼岸需要期に向け各地増加していく見込み。但し天候によって出荷は大きく左右される為現時点での出方は何とも言えない状況。2週目後半から3週目に掛け引き合いは強まっていく。
			FAJ 東北は順調な出荷を予定。白・黄色・赤の3色バランス良い入荷となる見込み。 東日本板橋花き 世田谷花き 若干前倒しの生育の様子。引き合いも強く。単価は高めの取引か。 第一花き 彼岸需要中心の流れ、やや前進化傾向も有り出荷状況・色バランスによるところが大きい。@35